



高知県北川村
「モネの庭」の睡蓮の池
(4月24日撮影)

日本人は西洋文明を模倣して近代化を進めてきたと言われている。そして、それ以上のものを作り上げてきた。

先週、徳島にある大塚国際美術館と高知の「モネの庭」に行った。どちらもコピーなので大したことはないはずだった。実際行ってみると、ルーブル、オルセー、オランジェリー、プラド美術館、アムステルダム王立美術館等よりも、ある意味興味深かったし、ジベルニーにある本家の「モネの庭」に負けていなかった。大塚美術館は、絵画が非常に詳細に陶板で再現され、実物のスケールを感じ、近づき触れることができる。ゴッホの「ひまわり」も世界中の美術館を回らなくとも、ここで見るができる。

日本人は勤勉であり、努力家である。頑張る努力すれば報われると信じて、ひたすら努力する。思った通り事が運ばないと「自分に問題がある」と考えてしまう。それも日本人気質であろう。

聖書に「恵みのゆえに信仰によって救われる」と書かれている。そしてこの「恵み」は無条件で与えられ、行い(修行)や対価を払うことなく、タダで与えられる。ところが、この「恵み」を日本人は頭でわかって、心でなかなか理解できない。無条件で何かを得ることを期待するなんて、怠け者で悪いことだと考えてしまうようである。

しかし聖書には、「恵み」を大胆に求めるように勧めることはあっても、努力や対価などの条件は一切ない。「恵み」は誰でも求めれば与えられる。「恵み」は愛の神からのプレゼントであるから。

この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。(エペソ人への手紙 2章8節)